

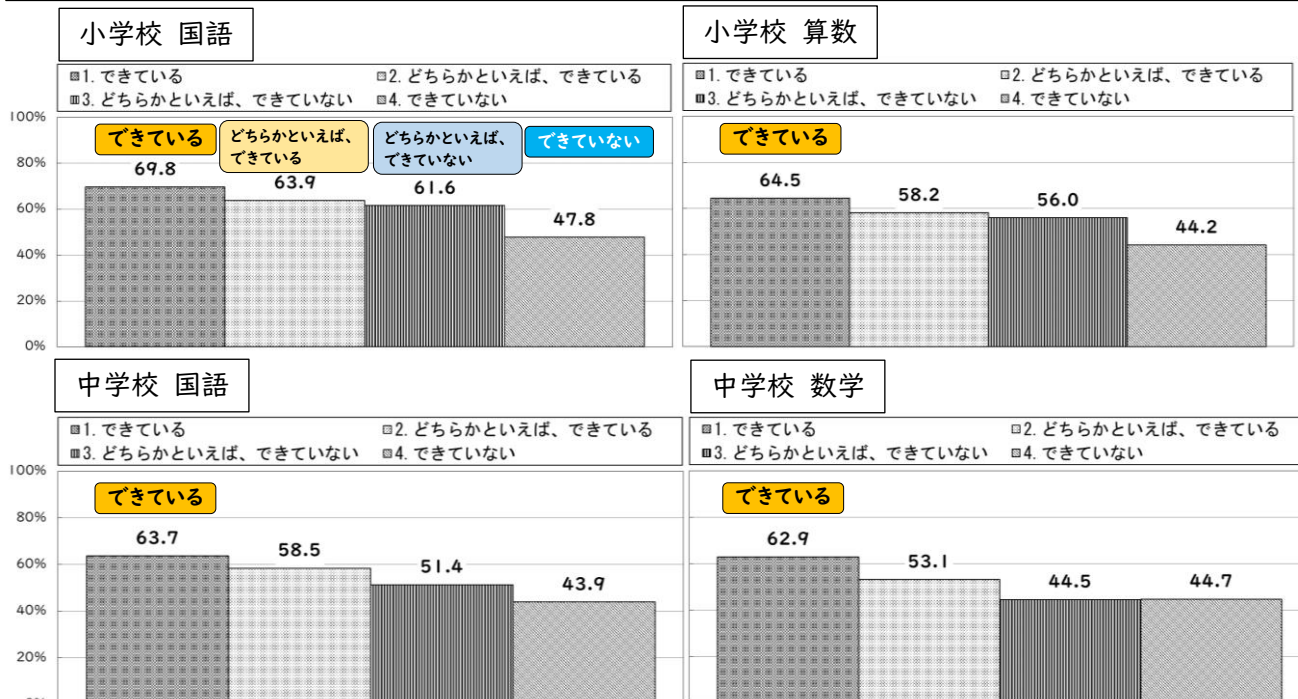
6 あつぎの学びの充実・改善のヒント

【児童・生徒質問と教科（国語、算数・数学）の平均正答率とのクロス集計分析結果より】

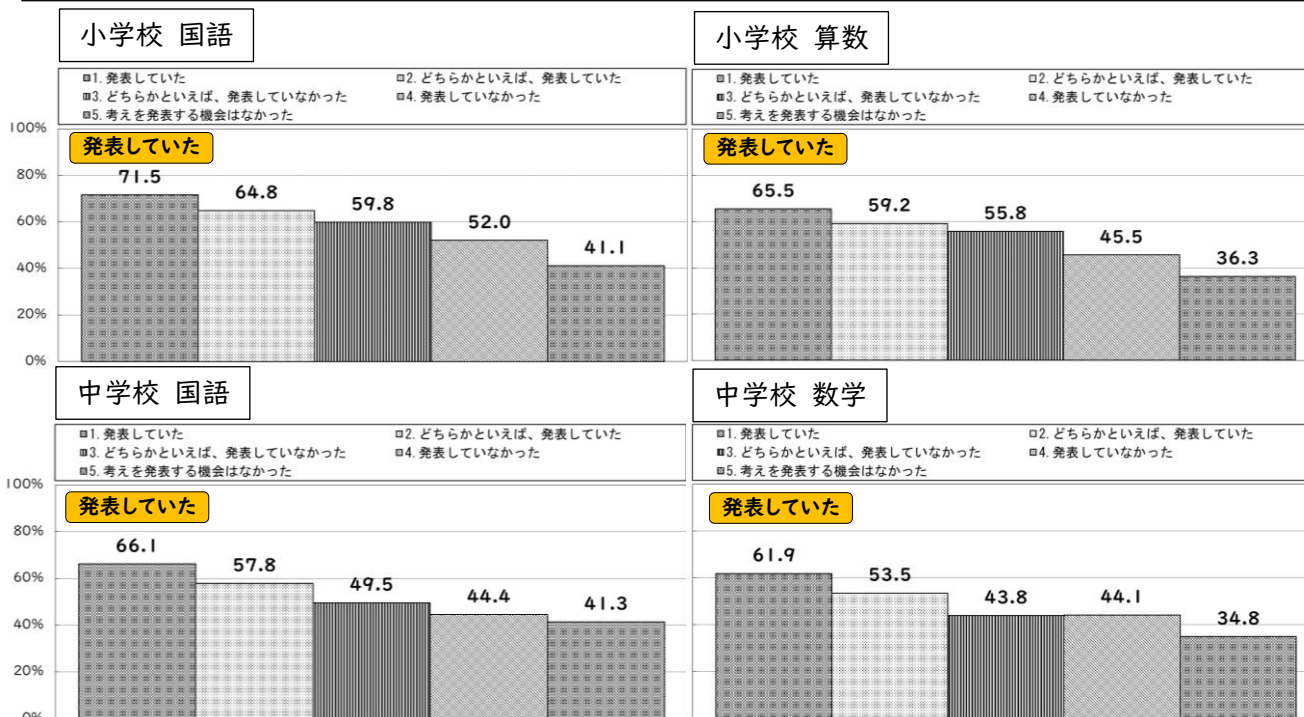
クロス集計は、相関関係（※）がみられるかを分析したものであり、因果関係を示したものではありません。

※ 2つの項目の間の何らかの関係性のことをいいます。

質問 20 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

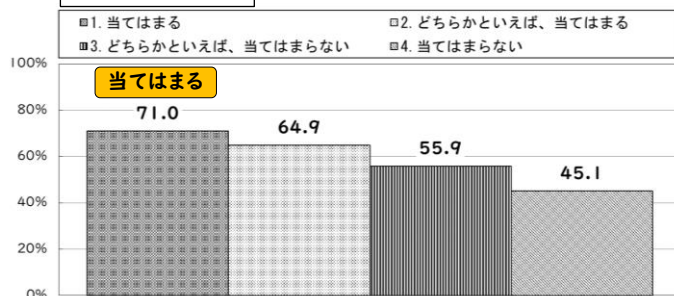


質問 29 5年生（1、2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

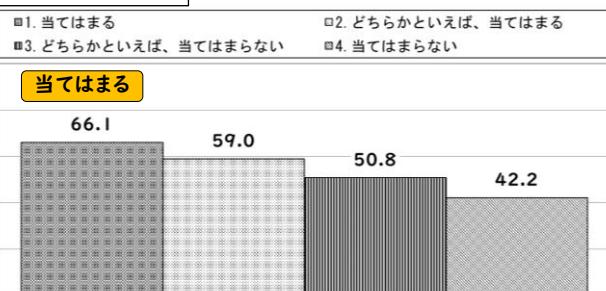


質問 30 5年生（1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

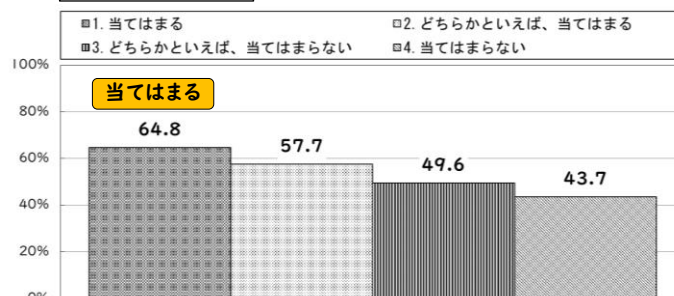
小学校 国語



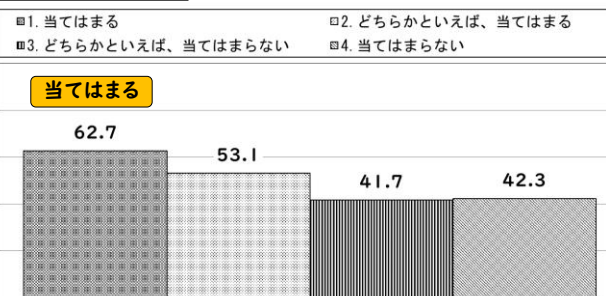
小学校 算数



中学校 国語

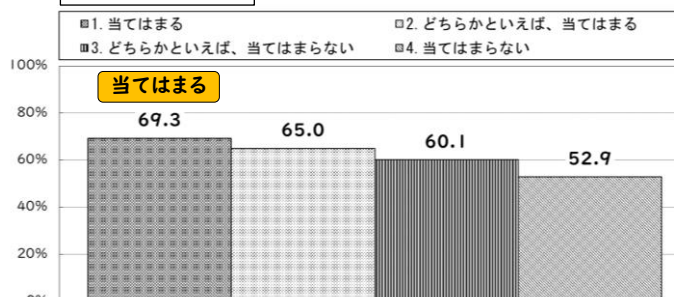


中学校 数学

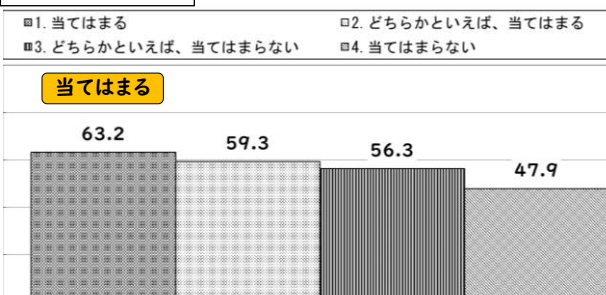


質問 34 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

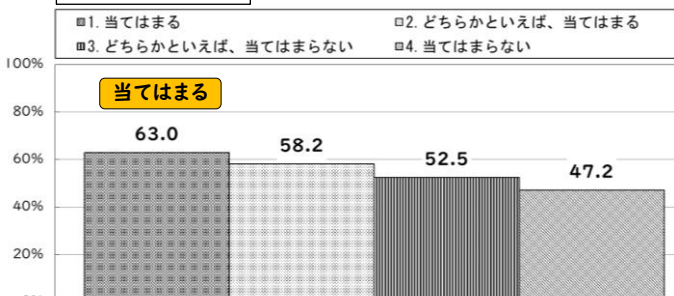
小学校 国語



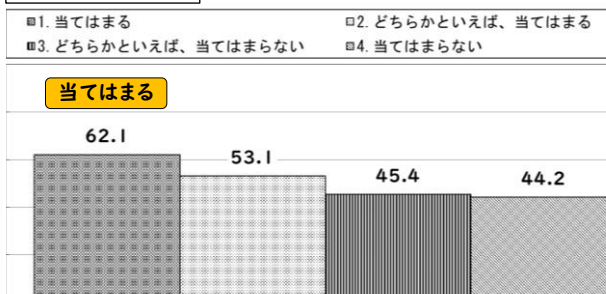
小学校 算数



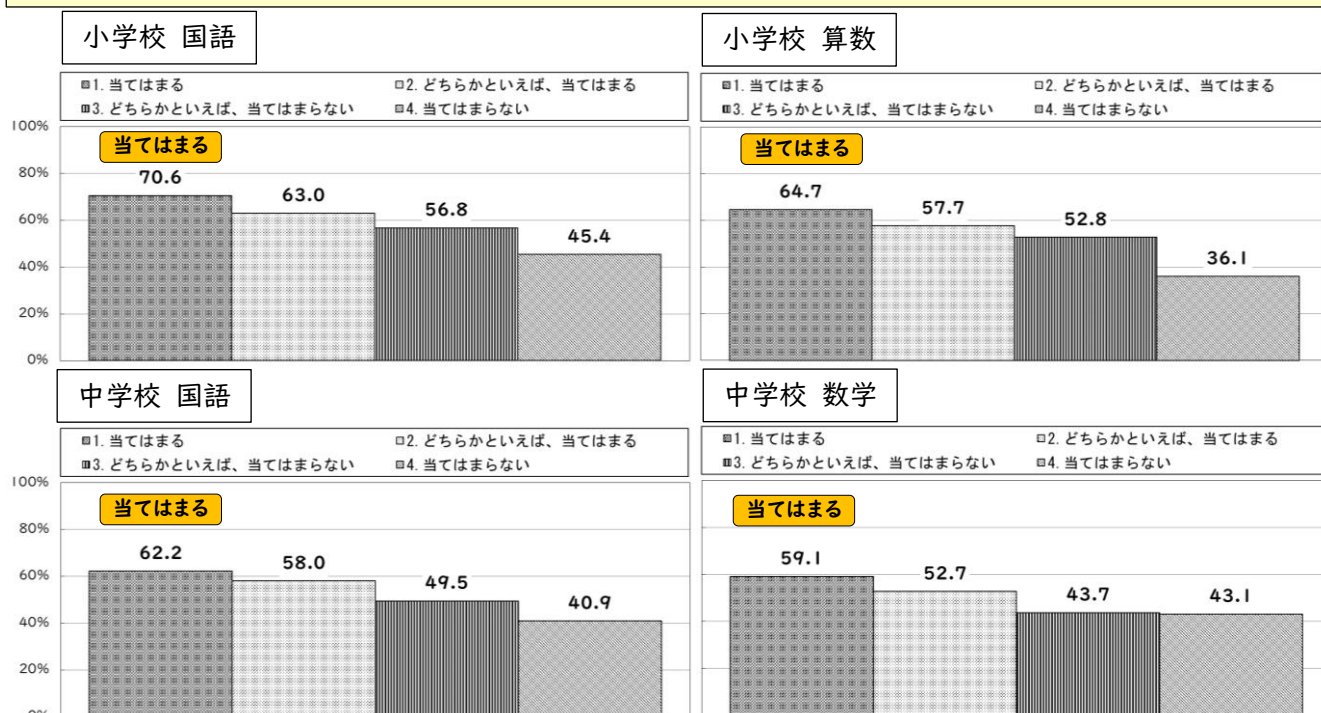
中学校 国語



中学校 数学



質問 38 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



【変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してよりよい社会を創る力の育成】

学校においては、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養といった、資質・能力の育成を重視した教育を展開するために、全ての教育活動において、児童・生徒が単に知識や技能を獲得するのではなく、学んだことを活用したり、考えを伝え合ったり、試行錯誤しながら自分の考えをまとめ、表現する力を身に付けることができる学びの機会を引き続き充実させることが求められていると考えられます。また、児童・生徒一人一人の学習の成立を促すための「評価」という視点を一層重視し、教師が自らの指導のねらいに応じて授業での児童・生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくことが大切です。